

# 自主防災組織だより

No.H27-2号

多摩市役所 平成27年12月

〒206-8666 関戸6-12-1

発行 総務部防災安全課

☎042-338-6802(直通)

## 新しい仲間が増えました

平成27年度、新たに2組織の自主防災組織が結成され、合計171組織となりました。

(平成27年12月現在)

<平成27年6月8日結成>

自主防災組織 No.175 プロスペア-多摩中央公園管理組合防災委員会(落合2丁目)

<平成27年7月7日結成>

自主防災組織 No.176 ライオンズガーデン多摩永山管理組合自主防災組織(永山2丁目)



☆近隣の自主防災組織は、互いに協力・連携して防災意識を高めましょう! ☆

## 平成27年度市民防災講演会

多摩市では、東日本大震災を教訓とし、震災をいつまでも忘れないために、毎年3月11日前後の時期に市民防災講演会を開催しています。

今年度も、市民の方々の防災意識向上を目指し、講演とパネルディスカッションを実施する予定です。

平成28年3月、東日本大震災から5年を迎えます。そこで、被災地からも講師をお招きし報告を行うとともに、復興について皆さんと考えます。皆さん、ぜひご参加していただきますようお願いいたします。

|                        |   |
|------------------------|---|
| 日時                     | 平成28年3月5日(土)<br>時間:13時00分~16時30分の予定       |
| 場所                     | 関戸公民館 8階「ヴィータホール」<br>[多摩市関戸4-72ヴィータコミュニェ] |
| 定員                     | 200名(直接会場へ・先着順)                           |
| 予定講演名及び<br>パネルディスカッション | (仮題)「東日本大震災から5年~復興を考<br>える~」              |
| 予定講師                   | 東京大学生産技術研究所<br>准教授 加藤 孝明 先生               |



※昨年度の講演会(パネルディスカッション)の様子

詳しくは、たま広報2月20日号及び多摩市公式ホームページをご覧ください。

## 防災行政無線の音声は電話で聞き取れます!【アンサーバック】

災害時には、重要な情報をお知らせするために、防災行政無線を使っていますが、屋内等にいる場合は聞き取りにくい時があります。

そこで、放送した内容を電話で聞くことができるシステム(自動音声応答装置)を導入しています。災害時には、ぜひ、ご利用ください。

☆ 自動音声応答電話番号 042-338-6910

※ただし、夕焼けチャイム等の定時放送は除きます。



# 災害に備えよう



東京都では今年の9月に東京防災(防災ブック)が1世帯に1つずつ配布され、ますます防災への意識が高まっています。首都直下地震等が起きた時の被害想定は、東京湾北部で地震が起こった場合、死者が9,641人に昇ると予想されています(H24.4.18東京都防災会議公表)。さまざまな大規模災害に備え、防災訓練へ積極的に参加して対策や準備をしましょう。



## 転倒・落下・移動防止対策(家具転対策)をしていないと起こる**3つの危険**

### 1 けが

地震時に3割~5割の人が、直接家具等が当たったり、つまづいて転んだりしてけがをしています。物が、倒れてこない・落ちてこない・移動してこないように対策をしましょう。

### 2 火災

家具等がストーブを倒して出火したり、電気スタンドが倒れ布団に接触し火災を引き起こす場合もあります。東日本大震災では都内で32件の火災が発生しました。その多くが家具等の転倒・落下・移動によるものでした。

### 3 避難障害

出入り口付近に家具等を置いていると転倒した家具が出口をふさぎ部屋から出られなくなります。家具を置く場合は置く向きに注意が必要です。通路や出入り口、寝室には大きな家具は置かないように心がけましょう。



## 今すぐできる地震の**心構え**

地震が発生したら、まず自分の身を守りましょう！そして揺れがおさまってから行動するようにしましょう！

- ・地震だ！まず身の安全！
- ・落ち着いて火の元確認・初期消火
- ・あわてた行動、けがのもと
- ・窓や戸を開け出口を確認
- ・門や扉には近寄らない



←防災ブックにも記載しているので  
確認してください！

## 今すぐできる地震の**備え**

いつ起こるかわからない地震に常日頃から備えておくことが大切です！

### 自宅・職場での備え

家具を固定し向きに  
注意するだけでも  
大きな効果があります。

### コミュニケーションの備え

災害が起きた際、  
家族間での集合場所を  
決めておきましょう。

### 防災訓練の備え

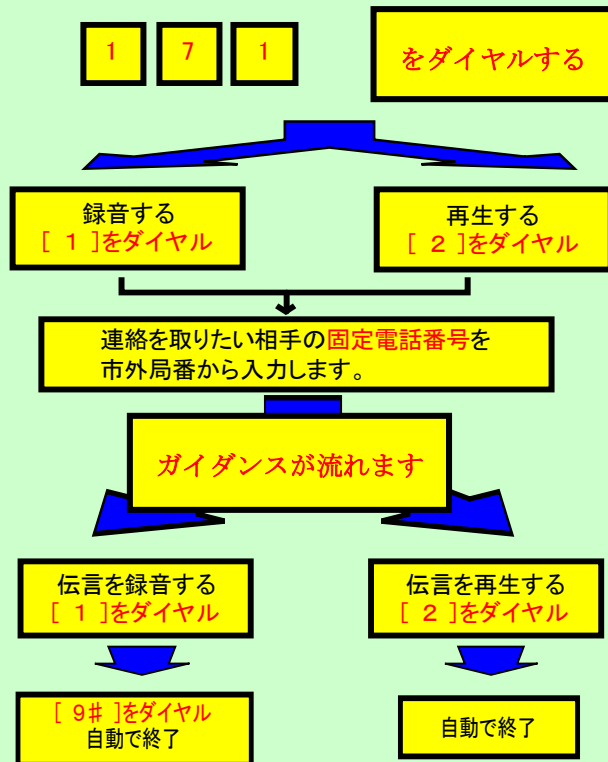
防災訓練を初めて行う  
地域でも消防署が丁寧に  
相談をお受けします。

# 使えますか？災害用伝言ダイヤル ～いざという時のために～



- 伝言の録音は30秒以内
- 伝言の蓄積は最大10件まで
- 伝言の保存期間は48時間
- 加入電話、公衆電話、携帯電話、PHSから利用できます。
- 体験利用ができます。  
毎月1日・15日・正月三が日・  
防災とボランティア週間  
(1月15日～21日)  
防災週間(8月30日～9月5日)

ご家族で使用方法を確認して、  
いざという時に備えて下さい





## 「警視庁災害ツイッター」やっています!

どんな情報をつぶやくの?

- ①大震災をはじめとする様々な災害の発生に関する情報
- ②日頃の災害への備えに関する情報
- ③訓練やイベントの開催情報

警視庁災害ツイッターへのアクセスはこちら  
《QRコード》

アカウント名  
『警視庁警備部災害対策課』  
ユーザ名  
『@MPD\_bousai』

[スマホ用] [携帯電話用]

ANTEP Tamachuooh ★  
Anti-Terrorism Partnership, TOKYO

どろどろ

テロ・ゲリラ  
未然に防ぐ  
あなたの目

パートナーシップ  
テロを許さない街づくり

街とともに。人とともに。  
FOR MORE COMMUNICATION  
けいしちよう

伊勢志摩サミット・東京オリンピックの開催に向け、  
警視庁ではテロ対策に力を入れています。

多摩中央警察署 警備係  
電話 042-375-0110 (内線 4612)

## 避難行動要支援者のための「避難支援個別計画」を作成しただけの自主防災組織を募集しています

**避難支援個別計画とは：**災害が発生したとき、要支援者の避難誘導等を迅速かつ的確に実施するため、避難行動要支援者(以下、要支援者という。)一人ひとりについて、誰が支援してどこの避難所等に避難するかをあらかじめ定め、情報を共有するためのものです。

**避難支援個別計画の作成準備：**自主防災組織が避難支援個別計画の作成を決定した段階で、市が該当する地域の要支援者に対し、個別計画に登録する旨について同意確認をします。

### 「避難支援個別計画」作成の流れ

- STEP1 自主防災組織が個別計画作成を決定
- STEP2 市が個別計画に登録することについて要支援者の同意を確認
- STEP3 市が同意した要支援者の名簿を自主防災組織に通知
- STEP4 自主防災組織が災害時に要支援者の避難を支援する方を選定
- STEP5 自主防災組織が個別計画を作成

**避難支援個別計画の作成：**自主防災組織が、避難を支援する方を選定した上で、要支援者とその家族と一緒に作成し、要支援者とその家族、自主防災組織、避難を支援する方及び市がそれぞれ保有します。

**補助金：**金額 年間5万円  
期間 3年間  
対象 自主防災組織  
対象経費 個別計画策定に必要な消耗品、印刷製本費、通信費等  
※ 次年度持ち越しはできません。

## コミュニケーション支援ボードを配付しています

多摩市では、言葉にバリアがある方と災害時でもコミュニケーションが取れるよう「多摩市コミュニケーション支援ボード」を作成しました。避難所等に設置した他、配付を希望される団体や市民の方にも無料で配付しています。

### 特徴

- 1 カードを指さして、意思や要望の内容が確認できます。
- 2 ホワイトボードマーカーで何度も書いたり、消したりすることができます。
- 3 英語、韓国語、中国語の表記があります。
- 4 水に強いつくりになっています。
- 5 手帳サイズで、災害時でも持ち運びやすい大きさになっています。



## 気象、水防などに関する防災情報メール配信サービス

市で把握した気象情報、水防情報及び地震情報などの防災情報をメールで配信しています。配信時間帯は、原則として市役所が開庁している時間帯です。(緊急の場合は、随時配信の予定) 配信を希望する方は、公式モバイルサイトのメール配信サービスから登録をしてください。なお、右のQRコードからすぐ登録できます。

公式モバイルサイトはこちら → (<http://mobile.city.tama.tokyo.jp/>)

QRコード →



※なお、情報提供料は無料ですが、受信料及びメールを利用する環境、接続などに関する費用は自己負担となります。